

山梨県富士吉田市 馬場亮河

～ 地域の記憶を残すアーカイブ活動 ～

基本情報



【年 齢】
25歳
【出身地】
コロンビア
【転出元】
東京都世田谷区
【前 職】
大学生
【活動時期】
R6年度～R8年度

協力隊に応募したきっかけ

大学生の時に授業がきっかけで訪れた富士吉田市の魅力に飲み込まれ、自然と地域に通うようになっていた。新型コロナウイルスの影響で大学の授業がオンラインに切り替わった際に、富士吉田市で住み込みでアルバイトをしたり、友達と家を借りて二拠点居住を始めた。1年間の海外留学を経て、地域の記憶を保存・公開する「アーカイブ」という営みに出会う。社会学・人類学を専攻していた自分のスキルを活かしながら、地域課題に向き合うことができる協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、これまで収集した写真やオーラルヒストリーをアーカイブとして構築したものの活用である。アーカイブを“生きた”ものとして育むためには、多様なスキルを持ったチームの編成とあらゆる手法での利活用が求められる。さらに、アーカイブ自体の活用だけではなく、アーカイブの過程に目を向け、デザインの領域やフィールドワークという枠組みで地域に根差した価値を普遍化する活動へと転換していきたい。

活動内容

●「知る」

地域の民俗館や博物館では知ることのできない、地域住民の口から語られる生活の記憶を知る。商店街の老舗や行き当たりばったりの地域住民への非構造化インタビューを通して、語られる言葉を聞き・書く作業を行う。



●「集める」

語りを記録するのと並行して、地域に関連する古写真を募集する。ときには自分から自治会や地域に詳しい人へ出向き、古写真を見せていただく。古写真としての「物」や言葉としての「語り」をひたすら集め、整理する作業。



●「生かす」

このようにして集めた古写真と地域住民の語りを具体的に想起しやすく「物語り」へと編集する。「生かす」過程ではアーカイブを活かした展示や出版に止まらず、「知る」「集める」の過程を様々なメンバーと連携して行うことで、デザイン・芸術・学術の領域へと拡張し、アーカイブを軸にした様々な活動が生まれることを目指します。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(フジアーカイブス) <https://fuji-archives.com>
(インスタグラム) @archive_fuji